

《資料館便り》

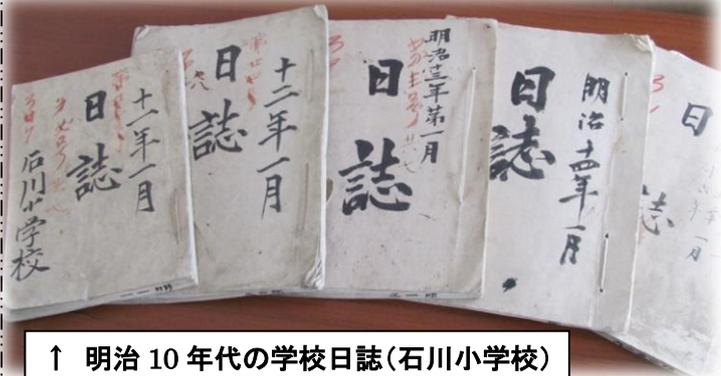
平成 26 (2014) 年
9 月号



石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和 49(1974)年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけの一つです。

○「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館
歴史民俗資料館長 三森孝則
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

学校所蔵「古書類」調査進む



↑ 明治 10 年代の学校日誌(石川小学校)

○小中学校の統合にともない、閉校する学校が所蔵する古書類の調査が進んでいます。

調査の目的は、それらの古書類を学校の資料としてだけでなく、町全体の歴史・文化遺産として大切に保管し、後世に伝えるためです。

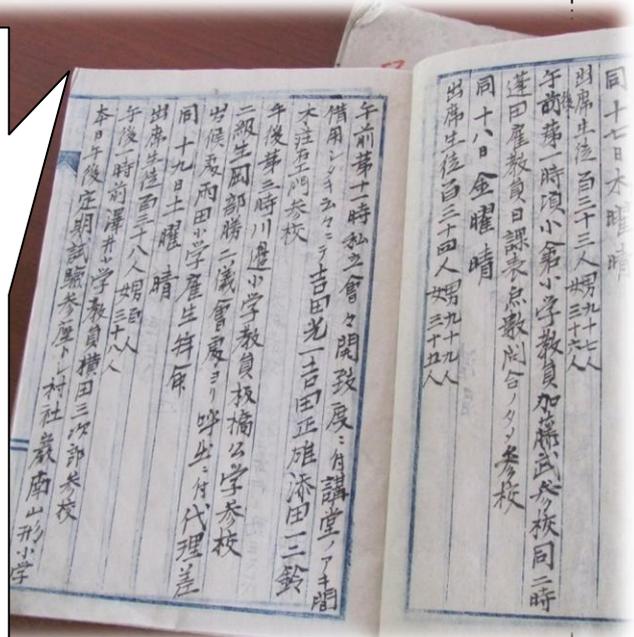
特に小学校は、どの学校も 140 年前後の歴史をもっています。その古書類には町全体にかかわる貴重な記録が残されているからです。

○石川小学校所蔵の明治 11 年 (1878) の学校日誌には、東日本でもっとも早く自由民権運動が始まったこの石川町の歴史を伝える記事がありました。

明治 8 年 (1875) に結成された「有志会議」のメンバーが学校を訪れ、新たにスタートする民権結社「石陽社」の結成会場として、石川小学校講堂の借用を申し込んでいることが分ります。(リーダーである吉田光一等の名前が見えます。)

町の近代史上の重要な場面が、その日の出来ごととして記録されているのです。

→ (明治十一年(一八七八)一月十八日)
午前第十一時私立会々開致度ニ付講堂ノアキ間借用シタキ云々ニテ吉田光一吉田正雄添田一二鈴木莊右衛門参校 石川小「学校日誌」の一部



○調査はまだ始まったばかりです。今後は収集と同時にこれらの書類の目録作成と解読を進め、資料として公表できるようにしなければなりません。相当な時間と労力が不可欠です。

現在、歴史民俗資料館と教育委員会生涯学習係が中心になって作業を進めています。

←中谷第二小学校での作業の様子(7月)

